

第十七回与謝野晶子短歌文学賞 「青春の短歌」

文部科学大臣賞

微笑んだ写真の中のあの人はずれた編み目のマフラー巻いて

東京都 酒井 志寿花〔学習院女子高等科〕

写真の中のとてもし小さなこと、「ずれた編み目」に視線を持っていく。もしかするとその編み目を作ったのは作者で、だからこそ気になるのかもしれません。写真はすでに過去の雰囲気を漂わせていて、「巻いて」にも余韻があります。

「高校生の部」青春の短歌賞

「虹なんて珍しくない」と俯いてまた歩き出す理系のあいつ

愛知県 鈴木 加成太〔県立明和高等学校〕

作者はただ「虹が出てるね」と一緒に見上げてほしかっただけなのに、相手からはこんな愛想のない反応。叙情性がない、理屈っぽいと思われるがちな理系人間ですが、「理系のあいつ」には、呆れる気持ちとともに、親しみも感じられます。

「中学生の部」青春の短歌賞

グラウンドを走るあなたの髪の毛が風に吹かれる放課後が好き

宮城県 尾本 茜〔名取市立第二中学校〕

放課後は、風に吹かれながら伸びやかにグラウンドを走り回る、授業中とはまたちがう「あなた」の姿を見つめられる時間。屈折なくまっすぐに「放課後が好き」と言い切ったところが、とても気持ちのいい歌です。

大阪府知事賞

秋あかね舞い飛ぶ風に稲穂揺れ子どもの影も上下に跳ねる

大阪府 中野 智香子〔府立三国丘高等学校〕

京都府知事賞

まぶしくてカーテン閉めたそのときにひかりのことが好きにおもえた

京都府 前山 沙巴羅〔府立鳥羽高等学校〕

福岡県知事賞

コスモスを背中に皆で写真とる写真を見るたび 遠くを見る祖父

福岡県 一色 美穂〔北九州市立引野中学校〕

北九州市教育長賞

シャワー浴び鳥になった気分して羽をたたくで一休みする

長崎県 岡崎 尚未〔県立長崎工業高等学校〕

京都女子大学賞

魚市場へ今朝も仕入れにゆく父の腹にも背にもうろこはりつく

青森県 沼田 裕香〔三沢市立第一中学校〕

菊池寛記念館賞

不思議だね話していると君の目に小さい僕が遊びに行ってる

大分県 甲斐 寿樹〔大分東明高等学校〕

日本ユネスコ協会連盟賞

図書室に眠っている本時を越えしずかに過去をしまいこんでる

青森県 三浦 純弥〔三沢市立第一中学校〕

与謝野町長賞

スキーするふもとに向かって直滑降自分さえも追い越せそうだ

京都府 八田 美菜子〔京都教育大附属桃山中学校〕

奥出雲町長賞

友だちに借りた本から落ちてきた押し花のしおり大事にはさむ

京都府 水本 真史〔立命館宇治高等学校〕

堺歌人クラブ賞

春色の五線譜にのせて口ずさむ聞こえるように聞かれぬように

京都府 田中 彩美〔京都女子高等学校〕

与謝野晶子倶楽部賞

曲作りを勉強してから音楽はこれからも生まれてくると思った

京都府 山下 貴史〔立命館宇治中学校〕

三国路 与謝野晶子紀行文学館賞

夏季大会日差しの下で頑張った ラケットは私より緊張している

東京都 李 安悦〔江東区立深川第四中学校〕

北九州歌人協会賞

不器用なこんな俺が山ユリを君だと思つてスケッチしている

長崎県 小林 祐〔県立長崎工業高等学校〕

北九州市立文学館賞

消しゴムは字を書きたくてもしょうがないえんぴつは字を消したくてもしょうがないのに

沖縄県 沖島 一平〔県立名護高等学校〕

第十七回与謝野晶子短歌文学賞 「青春の短歌」

〔入選作品 高校生の部〕

水の中ぶかぶか浮かぶ丸い泡見ているうちにまどろむ心

京都府 多田 新〔立命館宇治高等学校〕

あと一年遅くに生まれていたらなあいさつくらいできていたかな

京都府 櫛山 葵〔立命館宇治高等学校〕

冬の日の洗たく物が乾くとき私が何もしていないとき

京都府 森田 里奈〔立命館宇治高等学校〕

そういえば去年のあの日ためらった1人ためらう私であった

京都府 奥田 夕貴〔立命館宇治高等学校〕

青白い光の中にほこりまう今日で終わりの制服を着る

京都府 松岡 春菜〔立命館宇治高等学校〕

ふで先を青空に向け見つめてる空色の絵の具ふくむ気がして

東京都 安達 陽子〔星美学園高等学校〕

作品をつくりあげてはこっそりと誰にも見せず引き出しの中

東京都 浅沼 有璃〔星美学園高等学校〕

学校に一番最初に着いた日はマドを大きくあけておこうか

東京都 藤澤 幸歩〔星美学園高等学校〕

テスト前空気が変わる教室が息苦しくも温かい

東京都 後藤 瑛莉〔星美学園高等学校〕

真っ白い一面の雪溶け始めここにはブランコ表われてくる

埼玉県 小島 ひなの〔県立桶川西高等学校〕

授業中ノートに落書きしてみればカラスは巣の中で休んでいよう

埼玉県 海老 晴佳〔県立桶川西高等学校〕

内側に風が来るとき外側は風が来ないよそうだよきつと

埼玉県 高橋 雄希〔県立桶川西高等学校〕

長い時間電話していただけなのにほんの少し似てきた気がする

山口県 石川 愛〔県立防府商業高等学校〕

冬の日のココアのような関係でいたいと思う友人と私

山口県 渡津 彩香〔県立防府商業高等学校〕

一つだけ願いが叶うことならば過去に戻ってやさしくしたい

山口県 本間 祐亮〔県立防府商業高等学校〕

夕焼けを眺める君になんとなくただなんとなくまた恋をする

広島県 大室 宏平〔県立呉三津田高等学校〕

叶うとか叶わないとか気にせずただひたすらに走り続ける

広島県 寺田 知輝〔県立呉三津田高等学校〕

君の袖が動く姿を見ていたら吸いこまれてく白いブラウス

広島県 北村 磨高〔県立呉三津田高等学校〕

少しだけ足のしびれに耐えられるようになったもうすぐ初釜

大阪府 向井 美幸〔府立三国丘高等学校〕

掛けられたタオルで手を拭きふと思う乾いてるのかよくわからない

大阪府 八舟 翼〔府立三国丘高等学校〕

伝えたいたった三文字だけなのにその容量は1テラバイト

大阪府 大迫 聡〔府立三国丘高等学校〕

あの曲を聴けばあの頃思い出す今の私はどの曲だろう

大阪府 川端 彩華〔府立三国丘高等学校〕

ベランダにならんでふとんそれぞれの家に知らない人が住んでいる

大阪府 有本 佳織〔府立泉北高等学校〕

楠の木に注ぐ日差しがきらめいて大きく見えるどんな木よりも

大阪府 吉田 昂樹〔府立泉北高等学校〕

変わらない昔からある青廊下母も私も三年歩く

大阪府 藤浪 汐里〔府立泉北高等学校〕

金色の麦畑ゆく通り道風ふくごとにみんなして泣く

埼玉県 棚橋 岳馬〔本庄東高等学校〕

腕時計何回見たかなバス停で陽射しの下の六十秒間

大阪府 竹林 ひかり〔府立高石高等学校〕

曖昧に返す言葉も見つからずうつむくだけの僕に降る雪

福島県 中嶋 勇樹〔県立郡山東高等学校〕

風の中馬駆けていく時のよう気づけばすでに二度目の春が

岐阜県 江川 可奈子〔聖マリア女学院高等学校〕

北風になびくマフラー街灯の白に照らされ一筋走る

大阪府 中西 亜希〔府立鳳高等学校〕

あなたという方程式を解いてみたい答はいつも未知数だから

福岡県 永松 寛斗〔福岡魁誠高等学校〕

コンパスを一周回しぴったりと線合うときの軽い快感

岡山県 小松原 恭菜〔県立岡山南高等学校〕

ピアノ線張り詰めた様な横顔に思わずわたしもノートとる

岡山県 富田 裕子〔県立岡山南高等学校〕

獅子舞を恐がっていたあの頃は自分の部屋さえ広く感じた

福岡県 山口 百音〔県立北筑高等学校〕

ほこりたつ我が部屋のなかながめれば忘れしものあらわれること

福岡県 新濱 勉〔県立北筑高等学校〕

いつまでも見ているだけの恋をして初めてこんな思いを知った

岡山県 入矢 沙也加〔県立和気閑谷高等学校〕

土砂降りの中をひとり歩いてくそんな気分のそんな夕方

沖繩県 渡嘉敷 菜摘〔県立名護高等学校〕

九年間音にかこまれ生きてきた今の私はどんな音かな

愛媛県 松本 瞳〔県立東温高等学校〕

友達と遊んでいると何でかな盛り上がるほどなんか悲しい

愛媛県 中川 翔太〔県立東温高等学校〕

春風に誘われるがまま駆け出してどこまでも行けた白昼夢の中

福岡県 古賀 彩那〔久留米信愛女学院高等学校〕

授業中先生のクセ見つけてはノートの端に記す正の字

福岡県 大石 春奈〔県立八女高等学校〕

無情なり鳥が見下ろす気仙沼親を探して背中が歩く

香川県 細川 雅樹子〔県立高松西高等学校〕

春の日を茶色い毛先が透かしてる君の横顔見つめる放課後

佐賀県 草場 梨那〔早稲田佐賀高等学校〕

恋心傷つく前に封鎖する山を揺すって夏蟬が鳴く

長崎県 田崎 美聖〔県立長崎工業高等学校〕

朝ごとにノート見ている通学船テスト勉強ゆらゆらとする

長崎県 山口 将史〔県立長崎工業高等学校〕

鳳仙花実をはじいて待っているそろそろ来るはず友が来なくて

長崎県 三浦 祐樹〔県立長崎工業高等学校〕

夏の日に被爆体験の講話聞き心がぐったり疲れきって

長崎県 松崎 航〔県立長崎工業高等学校〕

七月の竹につるす願い事短冊を読み夕風がくる

長崎県 鎌田 充哉〔県立長崎工業高等学校〕

晴れ上がる台風一過の朝の窓壁にちぎれた木の葉張りつく

長崎県 木下 祐斗〔県立長崎工業高等学校〕

この坂をあと何百回登るだろう春の向こうで卒業す

長崎県 小田 育子〔県立長崎工業高等学校〕

朝日差し鴉色に染まる雪あぜ道足跡で飾り景色を仕立てる

東京都 原 緋加理〔学習院女子高等科〕

学校でベクトル習う君と僕あつてほしいな向きと大きさ

宮崎県 抜屋 慎〔県立延岡星雲高等学校〕

五と七と短歌は全部で三十一俳句は十七素数の世界

三重県 磯和 翔太〔皇學館高等学校〕

少しだけ君の机に手をふれて二度と戻らぬ時を思う

沖縄県 相星 春奈〔県立向陽高等学校〕

濃紺の空白抜きの月浮かび鉄塔の影静かに立てり

群馬県 高倉 慎矢〔県立高崎北高等学校〕

朝見たら今にも力尽きそうで頑張っておくれわたしのきんぎょ

宮城県 佐藤 のぞみ〔宮城県宮城第一高等学校〕

いつだって世界は全然変わらずに今日も半端な空ばかりです。

宮城県 齊藤 慧〔宮城県宮城第一高等学校〕

ここまでと葉挟んだ物語続きは筆執り私が紡ぐ

大阪府 中野 真里〔明浄学院高等学校〕

窓枠が枠の形をなさずして蝶がなだれてくるかの光

新潟県 高橋 梨穂子〔県立新潟高等学校〕

浴槽に柚子を浮かべて私の宇宙のような深さを捜す

茨城県 平入 麻衣〔県立下館第一高等学校〕

第十七回与謝野晶子短歌文学賞 「青春の短歌」

〔入選作品 中学生の部〕

金色に輝く楽器が集まって今日も始まる楽しい時間

京都府 山路 優芽〔立命館宇治中学校〕

もどかしい何度吹いてもならせないあの先輩の素直な音よ

京都府 小宮山 慧南〔立命館宇治中学校〕

あなたっていいとこたくさんあるんだねプリズムみたいに見えかくれする

京都府 山根 果歩〔立命館宇治中学校〕

青空に高く高くのぼるくもどこが彼らのいたただきだろうか

京都府 久保 淳恵〔立命館宇治中学校〕

幸せは目を閉じながら焼きつける目を閉じた時思い出せるよう

京都府 稲田 梨沙〔立命館宇治中学校〕

真っ白い吐息弾ませ通う道小さな鈴が私を呼んだ

京都府 清水 里紗〔立命館宇治中学校〕

年賀状いろんなうさぎがいるけれどやっぱり我が家のうさぎがいい

東京都 飯村 佳夏〔星美学園中学校〕

クリスマスサンタを信じる妹と私は気をつかう

東京都 星野 美月〔星美学園中学校〕

台風が去ったばかりの地面にはころがる雲の影逃げて行く

東京都 疋田 ゆり〔星美学園中学校〕

放課後に夕日とかぶった君の顔見えない顔がかがやいていた

東京都 小川 大樹〔早稲田大学高等学院中学部〕

やることあるのはわかるんだけども回転椅子の落ちつきがない

東京都 廿浦 明日〔早稲田大学高等学院中学部〕

もう泣くな自分で決めたその時に桜の枝を近くに感じた

東京都 内藤 裕吾〔早稲田大学高等学院中学部〕

サクスを吹いている時風吹いて木々がゆれば木管合奏

大阪府 北尾 文〔大阪教育大学附属天王寺中学校〕

自転車はいろんな出会いを導いてわたしを風に会わせてくれた

宮城県 市村 萩乃〔名取市立第二中学校〕

地球儀を回していたら無意識に行ってみたいとつぶやいていた

宮城県 小林 聖哉〔名取市立第二中学校〕

「おめでとう」心を込めて言えなくてゴシック体でメールをつづる

東京都 猪俣 かの子〔江東区立深川第四中学校〕

どの川も雪解け水が流れてるまたあの春が来ようとしてる

滋賀県 水谷 優斗〔甲賀市立土山中学校〕

また明日とひとりまたひとり減ってゆき一人影ふみ歩く通学路

東京都 元田 ゆうか〔武蔵野東中学校〕

教室の窓から入る日射しには日に日に違う温かさあり

東京都 竹宮 由貴〔武蔵野東中学校〕

いつだってずっと一緒にいる仲間絵の具のようにまざる青春

大阪府 重村 菜穂子〔堺市立浅香山中学校〕

授業中あなたの名前の漢字でてもどきどきしてしまう

山口県 黒田 歩実〔周南市立富田中学校〕

夏みかん祖母の家で育ってる次に会うのはマーマレードで

兵庫県 長崎 千奈〔西宮市立今津中学校〕

「おおきに」と言われなんだか照れくさい「ありがとう」とは何か違うな

福岡県 庄野 美月〔福岡市立片江中学校〕

暗闇に雨が降り出し何も見えない外に雨の音だけうごく

青森県 齊藤 夢奈〔三沢市立第一中学校〕

玄関に赤とんぼ一つ迷い込みどこへもゆけない立冬の朝

青森県 浜中 祐希〔三沢市立第一中学校〕

夏休みの宿題放り出したまま過ごした僕と僕の自転車

青森県 菊池 星耶〔三沢市立第一中学校〕

なにもないとても静かな場所なのに目をこらすとね全部見えるよ

奈良県 山本 英奈〔奈良教育大学附属中学校〕

擦れ違いあなたの木には止まれない新しい木を静かに探す

兵庫県 堂免 知世〔神戸市立櫛谷中学校〕

泣いている私にくれた暖さまだ残ってるレモンの香り

京都府 安西 優泉〔京都市立西京高等学校附属中学校〕

道ばたにひとつおちてる手ぶくろは冬の夜道をあたためている

鹿児島県 堂園 真歩〔鹿児島市立緑丘中学校〕

ポケットに小さきラジオを忍ばせて草引く畑に友居ることし

鹿児島県 徳永 海斗〔鹿児島市立緑丘中学校〕

ほととぎす漢字で書くと時に鳥まるで時間を彷徨うみたい

鹿児島県 佐多 大輝〔鹿児島市立緑丘中学校〕

反射した光がぼくを包みこむ自分は見えない自分の幸せ

鹿児島県 春山 喬洋〔鹿児島市立緑丘中学校〕

雪道に残るあしあと人のあと進んでいくあと佇んだあと

鹿児島県 上野 公美〔鹿児島市立緑丘中学校〕

だいすきな君への想い音にこめ届け届けとサックスを吹く

兵庫県 金谷 風花〔姫路市立朝日中学校〕

バスの中気づかぬ内に探してる名前も知らないあなたのことを

福岡県 松尾 佳月〔久留米信愛女学院中学校〕

ハイタッチ少しぎこちなかったけどその感触は忘れられない

福岡県 福島 あかり〔久留米信愛女学院中学校〕

地雷でも処理するようにすこしずつ林檎をむいてるおんなのこ

三重県 鬼頭 あゆみ〔高田中学校〕

マフラーに顔を埋めて漕ぐペダルぎこぎこ鳴って静けさもどる

三重県 山田 真悠子〔高田中学校〕

巻貝を奥へ奥へと進んだら青と緑と魚の声と

三重県 山川 佳那子〔高田中学校〕

バス停に降りしきっている雨の中僕はあなたと出会えたな

三重県 中西 淳貴〔高田中学校〕

雨の降る病院の窓から空を見るもうすぐ雲が切れてきそうだ

三重県 馬場 英弥〔高田中学校〕

夏の頃緑青色キャンパスに檸檬が光る静物画を見る

三重県 中東 知浩〔高田中学校〕

変わったな入道雲ではしゃげない空を見上げて一人たたずむ

大阪府 國谷 周平〔大阪府立木津中学校〕

いつもの道君と歩けば揺れている言えずに歩く気持ちも揺れる

島根県 森 朝香〔松江府立八雲中学校〕

ノートの最初のページにペンをすべらせ最後を使う自分を思う

岐阜県 浦本 理沙〔土岐市立駄知中学校〕

お土産を探して歩く京の町頭の中で引き算をする

広島県 黒木 翼〔呉市立昭和中学校〕

水面に映った金閣見ていたら上下感覚無くなってゆく

広島県 高松 遼〔呉市立昭和中学校〕

晴れの空夕方の空雨の空どれもきれいでとても落ち着く

鹿児島県 高吉 はるか〔南九州市立穎娃中学校〕

秋の日は雲の形が変わりゆく見上げる空にあたたかな風

京都府 石山 紗瑛〔京都教育大学附属桃山中学校〕

部屋中にかつんと響くペン回しとぎれてしまふ集中の糸

埼玉県 船戸 綾悠〔小川町立櫛台中学校〕

一年の間に君は変わったね私の知らない君物語

京都府 藤井 日菜〔京都市立近衛中学校〕

足痛めみんなが走る最中に私は一人応援をする

愛知県 中菌 舞〔西尾市立東部中学校〕

橙の床に切り取る窓のカタチ白い光が映し出してる

茨城県 城戸 涼風〔水戸英宏中学校〕

傷付いた君の心をエンピツと消しゴムだけで修正したい

茨城県 矢澤 愛実〔水戸英宏中学校〕

バスからの見える景色は帰り道暗く明るく不思議な道だ

茨城県 小林 青空〔水戸英宏中学校〕

ふるさとの商店街で買うキムチ古新聞がぬくもり包む

大阪府 伊藤 英里〔大阪教育大学附属平野中学校〕

僕はまだ自分をようと知らんちゃんやけん今日も勉強すつとよ

福岡県 古閑 理〔大牟田市立延命中学校〕

うつ伏せのわたしを照らすひだまりと鼻をくすぐる庭の香草

神奈川県 小橋 奈央子〔平塚市立春日野中学校〕

世界中の空気清浄機を俺によこせ夏は嫌いだ秋も嫌いだ

埼玉県 若杉 あゆみ〔浦和明の星中学校〕